

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより

からうら

No. 37

2006.10.30発行

補正予算
4,348万5千円を可決

ペットボトルを分別

②

安全な農産加工品で高収入

7議員町の考えをただす

④

牛120頭の飼育が日課

⑫



万5千円を可決

30億 8,428万9千円に

9月定例会

◆◆◆ 補正の主なもの ◆◆◆

廃棄物再生利用等推進費

(ペットボトルの処理) 1,545万4千円

簡易水道会計繰出金 499万3千円

(棚久水道組合)

義務教育振興費 308万4千円

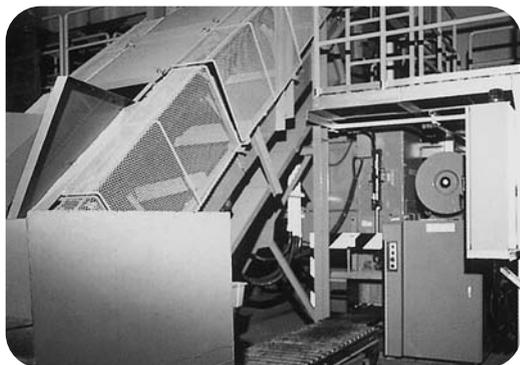
(中学校体育館耐震設計委託料)

県単土地改良費 400万1千円

(陽地農道)

県単林道事業費 350万3千円

(婆羅尾・岩屋線)



◀ ペットボトル圧縮機

平成17年度各会計 歳入歳出決算の認定

歳入 43億2,344万7,799円

歳出 39億3,747万15円

差引残額 3億8,597万7,784円

一般会計

総務産建常任委員会に付託しました

ペットボトルリサイクル 施設の予算を可決

九月定例会は十三日から二十六日までの十四日間開かれ、十八年度補正予算、教育委員会委員の任命と固定資産評価審査委員会委員の選任同意については、全員一致で可決、条例の一部改正は賛成多数で可決しました。また、国民保護法案関連の条例制定については、討論の後、採決を行い賛成八人、反対三人で可決しました。一般質問には七議員が登壇し、町の考えをただしました。

4,348

予算総額



中学校体育館耐震設計を委託

国民保護協議会条例
討論、採決の結果可決

武力攻撃の際に住民を守るための備えとして、勝浦町にも協議会を設置する条例

反対

西浜・井出議員

この条例は憲法に定める基本的人権を制約し、国民と地方自治体を戦争に巻き込む体制を作るものである。

賛成

溝田議員

現在も世界各地で戦争が起きている。今、直ちに勝浦町に危機が迫っているとは思えないが、備えは十分しておく必要がある。

採決

原案に賛成

松田、大西、川端、国清、溝田、福徳、森(敏)、中西の八議員

原案に反対

井出、原田、西浜の三議員

賛成多数で可決しました。

議員提出議案

道路整備の促進と道路財源の

確保に関する意見書

◎提出先

衆、参両院議長 内閣総理大臣

国土交通大臣 財務大臣

総務大臣 県選出国會議員

全員一致で可決しました。



西浜勝己議員

議員在職三十五年以上の自治功労で総務大臣から感謝状が贈呈されました。

教育委員会委員

武田 京氏(中角)

の任命に同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

幸山喜己氏(棚野)

の選任に同意しました。

総務産建常任委員会

九月五日に開き、一般会計補正予算、勝浦町国民保護協議会条例と固定資産評価審査委員会委員の選任同意等について審議しました。

ピンとこない 国民保護条例

【参事から】 勝浦町国民保護協議会条例等について参事より説明がありました。

【問】 国民保護の観点よりも軍事費増強の隠れみみではないのか。現状では北朝鮮の脅威はあるが、有事の際となるとピンとこないところがある。

【答 参事】 国や県の方針に從わなければならぬ面もある。他町村では六月に制定しているところが多いので、今議会でお願いたい。



【問】 保護協議会設置に対する補助金はあるのか。

【答 参事】 特にながが自治体として有事の際の避難、誘導を含め武力攻撃に対する対応は必要である。

【委員会として】 勝浦町国民保護協議会条例と併せて、保護対策本部及び緊急対策本部条例については意見がまとまっていけないので、全員協議会にゆだねることになりました。補正予算については、九月議会に提案することに同意しました。

委員会ハイライト

文教厚生常任委員会

九月四日に委員会を開き、十八年度一般会計補正予算、国民健康保険条例の一部改正について審議しました。

十八年度中に ペットボトルを 分別

【住民課長から】 運送会社の倉庫の一部を借りて、ペットボトルの分別を始めたことの説明がありました。

【問】 面積や借り上げの時期、賃貸料はどれくらい必要か。

【答 住民課長】 面積は七月九万円、十月から工事にかかり、十二月から稼働の予定である。

【住民課長から】 ごみ焼却について民間業者の調査状況や、小松島市との協議について説明がありました。

【問】 十八年度の燃料費はどれくらいの見通しか。

また、民間業者や小松島市の焼却料はどのくらいか。

【答 住民課長】 燃料費は十八年度二百五十万円、十七年度五百二十五万円、十八年度は八百万円程度になる見通しである。焼却の経費は民間、小松島市とも一t当たり四万から五万円である。

【委員から】 早期に結論を出し取り組むようにとの意見がありました。補正予算などについては、九月議会に提案することに同意しました。



ペットボトル処理予定の倉庫

安全な農産加工品で高収入



長野県喬木村^{たかぎ}では食品加工、販売で有名な小池芳子氏が経営する農産加工所を見学、農家が生き残るため、生産した農産物を全て収入につなげていくようジュース、ジャム、ドレッシング等の農産加工に力を入れて、安全食品を生み出し商品化して、販売できるシステムを作り高収入を上げる応援をしていました。

道路改良費が半分に

長野県飯山市では、人員削減や経費削減など従来型の改革だけでなく市民との協働や市民満足度の向上、成果を重視した行政経営改革を基本方針に行動計画を立て実行しています。公共工事の見直しでは業者の「請負工事方式」から、地域や区民団体への「協働の道づくり」へと方向を転換、年間の道路改良費は半分になっています。勝浦町で同じやり方は難しいと思いますが、住民と共に知恵と力を出し合う計画には大きな魅力を感じました。

視察研修報告



文教厚生常任委員会

ペットボトルリサイクル 住民の協力が不可欠

佐賀県有田町は、有田焼で有名な町です。ごみ収集の拠点であるリサイクルプラザを見学、説明を受け、今後の課題や対策について意見交換をしました。
有田町ではリサイクルに取り組んでから、住民の協力を得るまでに数年を要したとのことですが、勝浦町でも始まるペットボトルのリサイクルは住民の協力が不可欠であり、いかにして周知、徹底するのが鍵となりそうです。

子育てサークルで 絵本の読み聞かせ

長崎県川棚町は大村湾に面した人口一万五千人余りの町で、地域が一体となり子育て支援に取り組んでいます。町立図書館が無いため町内に四つある子育てサークルでは絵本の読み聞かせや貸し出しが行われており、子育て中の保護者の交流の場となっています。

町独自の事業として十月月検診時に赤ちゃんと保護者にメッセージを伝えながら絵本三冊を渡すブックスタート事業や、第三子へ特別出産祝金の支給なども行っており、本町としても取り組むべきでないかと感じました。

第三子の保育料を 無料にしては

適当かどうか検討する（町長）

井出美智子 議員



問 神山町では、第三子の保育料無料化を来年度から実施するが、勝浦町も取り組んでどうか。

また、無料化する場合、その対象者数と財政負担はどの位になるか。

答 岩佐福祉課長 該当者は0歳から五歳迄で二十一人、負担は四百八十万円になる。

問 介護認定を受けている人の障害者控除扱いについて周知できているのか。

また、障害者の認定証を発行したのは何人か。

答 岩佐福祉課長 周知できていないので、今後、広報等で周知していく。要介護四・五について

問 広報等で周知に努める（福祉課長）

高齢者の悲鳴をどう受け止めるか

声为国や県に届けたい（町長）

答 岩佐福祉課長 特別障害者控除の認定証は百四十二人に発行している。

税金が上がり高齢者の負担が増えている。六十五歳以上の人のうち介護保険料のランクが上がったのは何人か。

また「年金も減っているのに、なぜ何もかも値上げなのか」との高齢者の声を町長はどう受け止めているか。

答 岩佐福祉課長 保険料のランクが上がった人は二百五十人余りである。



岩佐福祉課長

問 ケーブルテレビの料金が支払えないため、加入を見送っていた世帯が共同アンテナ組合の解散により、取り残される事態が起きている。「情報格差を無くす」ということで取り

答 町長 生活保護世帯には二分の一の助成も行っており、締め切り以後の申し込みについての補助は難しい。

ケーブルテレビ未加入者をつつす



答 町長 国の激変緩和措置があるが、町としても国や県に声を届けていきたい。

答 戸川参事 実質加入率は九十%であるが、補助事業などで締め切り以降の加入は、NTTとの話になり十三万円余りの加入金が必要となる。

組んだ事業が、結果として貧しい者を切り捨てることになってしまふのはおかしい。町が救済すべきでないか。

保育所

民間委託の取り組み状況は

森 敏治 議員

情報収集の段階（町長）



問 保育所を平成二十年を目途に民間委託したい。十九年度までに十分調査研究し関係者の理解を求めていきたいとの答弁があった。どのような取り組みをしてきたのか。

答 岩佐福祉課長

町内には保育所運営の実績がある社会福祉法人がなく、近隣市町で委託先があるか当たってみたい。

答 町長

鳴門市、小松島市などの情報収集をしている。話が煮つまりしだい説明会を開催したいと思っている。



町長

公営と民営

どちらが有利か

問 公営と民間委託の場合、国の補助金はどちらが有利なのか。

答 岩佐福祉課長

三千八百八十万円の国の補助金が一千二百万円になり、一千九百八十万円の町費負担が増加した。また、延長保育などは民間は補助金があるが、公営の場合はない。

徳島市との合併を考えているのか

福德重二 議員

懇話会は合併を前提としない（町長）



問 徳島市長の呼びかけで、十市町村長が共通する行政課題や広域化の取り組みについて話し合いをしたと聞いている。徳島市長は四十万人規模の中核市構想を視野に入れている。すでに小松島市長や佐那

河内村長は合併を望んでいるとの発言があった。町長はこの懇話会をどう認識しているのか。また、合併の意思表示をすべきではないのか。

答 町長

懇話会は合併を前提としたものではない。現段階では個別の課題について意見交換し、広域で取り組めるものについて進めていきたい。また、合併については、時期が来れば決断しなければならぬと思っている。

耐震補強工事件数が少ないのはなぜ

問 個人向け住宅の耐震補強工事の希望者が二件と少ない。有利な補助金制度なのに希望者が少ないのはなぜか。

答 松田住民課長

補強工事となると六十万円から三百万円位の個人負担がかかるので、ためらっている人が多いと思う。



耐震補強が進む横小体育館



どうなる保育所の民営化

中核市構想 町長は将来ビジョンを示せ

時期が来れば決断（町長）

大西一司議員



ついでには、時期がくれば判断し決断しなければならぬと思う。

県道改良 工事期間長すぎる

早期完成を県に
要望（産業建設課長）

問 徳島市などの懇話会では中核市を見据えたものである。将来中核市構想に参画するのか、単独行政で自立計画を立てているのか町長は将来ビジョンを示すべきだ。

答 町長 懇話会は合併を前提としていない。行財政の課題の解消や広域化の取り組みを議論するよい機会だ。合併に

問 県道徳島・上那賀線の二車線化は勝浦郡民の長年の悲願であり、町の発展にも大きく影響を及ぼす重要な問題だ。柳原工区の進捗状況は。

また、沖野工区の工事期間が長すぎるのでは。

答 倉坪産業建設課長

柳原工区は七月に地元説明会をし、伐採する樹木の



沖野工区の一日も早い完成を

確認等をして、現在は路線測量及び道路設計中だ。残された課題もあるが、来年度着工になるよう期待している。

沖野工区は地すべり地域でもあり地質調査、のり面対策工事の修正設計等を行いながら進めている。早期完成は地質条件等により不確定な部分があるが、一日も早い供用を県に強く要望して行く。

ごみ処理 民間委託か広域行政か方向を示せ

来年度予算に反映させる
（町長）

問 クリーンセンターは処理能力が半減、毎年補修費も多額で、全体の費用が多かかり過ぎていて、重油の高騰で今年の燃料費は一昨年の三倍になると聞く。

民間委託や広域化を唱えているが、早く方向を示し協議を進めるべきだ。

答 町長 八月に立川地区関係者に現状の説明をした。今後、広域か民間委託か調査研究して早く方向性を示し、できれば来年度予算に反映できるようにしたい。

土木費 執行率が悪い

問 十七年度一般会計決算は執行率九十二％で特に土木費、災害復旧費の繰り越しが多い。繰り越しは課題を次年度に延ばすだけで工事等が遅れて行く。見通しの甘さが指摘されると思うが。

答 倉坪産業建設課長

災害復旧費県補助金は、災害査定、県協議、実施設計等に時間を要したためである。土木費国庫補助金は用地、建物の補償、工法の選定等に手間取り繰り越しとなった。今後は、状況を把握し適正な予算執行に努めたい。



倉坪産業建設課長

地方交付税が他町村に比べ 減少率が低いのはなぜ

行政改革取り組みの効果(町長)

中西晴美 議員



問 平成十七年度決算の結果と、今後の財政の状況は。

また、一市四町合併が協議されていた平成十四年と比べ六億円弱起債が減り、病院や国保会計積立金を合算すれば基金は二十億円になる。これは川口前町長が人件費や思い切った行革を他市町村より早く実施した結果である。

十八年度の地方交付税が他町村と比較して減少率が低いがその要因は。

答 戸川参事

十七年度の財政数値は公債比率二〇・七％、經常収支比率八九・五％、起債制限比率十六・五％、財政力指数〇・二四である。十八年度決算の見通しについては大きな事業がないと予測されるので三十三億六千九百万円程度になると思う。

答 町長

前町長が行政改革に一生懸命取り組んできた結果、本町の地方交付税が他町村に比べて減少率の低下につながったと思う。

過疎債の延長を

問

町長や参事は財政の非常に厳しい現状から、財政再建団体になる恐れが二十三年頃から二十五年頃に先送りになった程度であるといっているが、行政改革を続行するならば心配ないと思う。

また、景気の好転による国の税収増加と合わせて、平成二十二年に終了する過疎債を二、三年延長しても例えば大丈夫と思うが。

答 戸川参事

過疎債については全国的な組織もあるので要望もしていかなければと考えている。



戸川参事



所得により3割負担に

国保改正 高齢者現役並負担 の該当者は

六人か七人程度(参事)

問

国民健康保険条例の一部改正で、七十歳以上の自己負担が現役並所得の場合は二割が三割となる。該当者はどのくらいか。また、出産祝金が三十万円から三十五万円に引き上げられるが社会保険加入者はどうなるのか。

答 戸川参事

三割負担は六、七人である。出産祝金は社会保険も金額に差はない。



勝浦病院

看護師の採用は

募集したが応募がない

(病院事務局長)

松田 貴志 議員



問 最近では慢性的な看護師不足が問題になっているが、新規採用の状況と今後の対策は。

また、臨時看護師の待遇改善に向けての取り組みは。

答 幸野病院事務局長

看護師不足は医師同様に深刻な状況であり、八月の広報で募集したが応募がなかった。ナースバンクやハ

ローワークに出しているが今後は新聞広告等も考えていきたい。

答 町長

臨時職員の雇用期間や勤務体制等を総合的に判断してよりよい職場になるよう待遇改善に努力していきたい。

病院入口道路を

拡幅しては

検討し対応も考える

(町長)

問

郵便局横の交差点を拡幅し、病院への車の出入りをしやすくしてはどうか。また、病院近くの堤防脇の歩道がひどく痛んでいる。ウォーキング愛好



幸野病院事務局長

公共事業

総合評価方式を

導入しては

今後の検討課題としたい(産業建設課長)

問

今年に入り県が発注した土木工事で談合が行われ逮捕者が出る事件があった。談合と過当競争により落札率に極端な差がある。総合評価方式を導入しては。

答 倉坪産業建設課長

危険な箇所から計画的に補修を行いたい。

答 町長

県道に出るときに西側の見通しが悪いのは認識している。関係者と協議するなど対応を考えてみたい。

答 倉坪産業建設課長

総合評価方式を導入すればメリットはあると思うが、職員の評価能力や人員確保

等を考えると難しい。今後、こうした制度について検討する必要があると考えている。

ごみ収集、浄化槽管理の問題点は

問

浄化槽の管理やごみ収集運搬等の発注方法に問題点はないのか。

答 松田住民課長

随意契約による委託業務がほとんどである。住民生活に直結した業務内容ばかりなので、見積価格が安いだけでなく緊急時における人員の確保や対応マニュアル等を作成するなど、契約内容を十分吟味し検討していく。



病院入口の拡幅



松田住民課長

ごみ処理

広域行政で解決を

早急に隣接市や民間会社と協議

(町長)

西浜勝己議員



問 二度の合併協議がとんざし自立の道を歩むことになったが、今後、町単独では難しいごみ処理などは、広域的な取り組みが必要と思うが。

答 町長 町単独で困難な事業として、ごみ処理と救急消防体制がある。クリーンセンター老朽化に伴う問題は、調査、研究の了解を地元立川地区

勉強会などの取り組みをしてもらえると非常にありがたい。

小学校統合の展望は

百人前後が維持できれば二小学校で (教育長)

問

少子化が進んでいるが、小学校統合の計画や展望は。

答 教育長

現在の生徒数は小、中学校合わせて四百三十五人だが、平成二十年には四百人を切る見通しである。横瀬小では九十人、生比奈小で百人程度になるが、百人前後で推移すれば統合せずにやって行きたい。いずれは一小学校の時代も来ると思うがかなり先のことになると思う。

高齢者保健計画の重点施策は

予防重視で取り組む (福祉課長)

問

高齢者保健計画と介護保険計画の中で、何を最重要視して取り組むのか。

答 岩佐福祉課長

今回の計画では、要支援や要介護状態にならない高齢者を目指し、予防重視の方向で取り組みたい。

今後の行革の進め方は

問

長野県飯山市では、住民と行政がともに知恵を出し合い条例改正するなどして「協働するまちづくり」による行財政改革を進めている。勝浦町の行革の進め方は。

答 戸川参事

平成十六年に策定した行財政改革大綱の中で、協働型社会への移行ということでNPOの育成、民間委託、受益者負担の見直し、補助金の審査厳格化などを唱っている。飯山市のように小規模農林土木事業の地元施工の推進も行革の有効な手段と思う。

小松島市との信頼関係は重要

問

広域行政に取り組むには、隣接の小松島市との信頼関係が重要だ。執行機関と共に、我々議会としても信頼関係の再構築に取り組むべきだと思っているが町長の見解は。

答 町長

理事者間の話し合いはもちろんだが、議会も市議会と



教育長

将来は一小学校の時代も



元気が一番

牛百二十頭の飼育が日課



溝田武仙^{たけのり}さん（三溪）
大正4年9月19日生（満91歳）

Q 記憶に残る思い出は
A 子供の頃、父は体を悪くして仕事ができず、兄も事業に失敗し、食べ物にも事欠き、隣近所へ米を借りに行かされた事など、貧乏の辛さは忘れられません。

Q ご家族は
A 八十六歳になる婆さんと二人暮らしで、口げんかばかりしています。

Q 毎日をどうして過ごしていますか
A 米やスタダチの収穫も終わり、息子が飼育している牛に朝夕餌をやるのが日課で、昼の間は自分が植えた杉や桧の成長を楽しんでいます。

Q 長生きして思う事は
A 八人あった兄弟も私一人になり、敬老会に行っても男で年上は一人しかいませんが、死と言うことはあまり考えません。



昭和13年 23歳
支那事変当時満州で

Q 幸せだと思う事は
A 子や孫、ひ孫がみんな元気でいてくれる事ほど幸せな事はありません。

Q 最近の楽しみは
A 家の下の川でウナギ、カニ、アユなどを捕って、知人や親戚を呼んで食べてもらうことです。アユは上勝町へもカブに乗って捕りに行きます。

しみながら世話をしたりゴゾゴゾしています。じっとしている時間はありません。

編集後記



来年、徳島県で行われる国民文化祭に向けて、人形文化交流館で人形と花のフェスティバルが行われています。ビッグひな祭りも迫り満点ですが、色とりどりの花に囲まれた人形たちも可憐で華やかで見応えがあります。

このようなイベントの影で毎年開催されていた町民祭が来年は中止されるようです。町民が集い行われるイベントが少なくなる中「小、中学校の運動会と一緒にしては」「規模を縮小しても開催すべき」「参加者も減る一方だし、この際やめたら」など様々な意見があります。交流による賑わいのまちづくりも良いと思いますが、住民一人ひとりのまちづくりへの情熱を消してしまつては、本末転倒ではないでしょうか。（貴志）



人形と花のフェスティバル